

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月22日

事業所名 多機能型通所支援事業所リアンジュ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	○	パーティションを使用し空間分けをしている。	個別対応やクールダウンが必要になった際に使用できる個室の確保が必要。
	2	職員の配置数は適切である	○	○		配置上は満たせているが、入浴サービスの提供を行う際にホールで児童対応する職員が不足しているように感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○	○	定期、または適宜にカンファレンスの実施を行っている。	振り返りの際、各職種の視点での意見を引き出す必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果について職員と共有し、改善に努める為の共通理解の機会としている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所として必要な研修への参加を積極的に行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		カンファレンスの際、各職種合わせて様々な立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			学校登校日の活動において来所時間によっては活動に制限が出ないよう工夫が必要。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	○	個々に応じた課題設定を行っている。	個別活動を図らなければならない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		業務開始時に本日の予定、前日の様子を踏まえた支援の方向性についての話し合いを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		児童の変化や成長があった場合は適宜職員間で周知話し合いを設けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日誌にて記録している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○		多職種連携の為に情報共有できる、サービス担当者会議を積極的に設けていきたい。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			各種指示書の見直しが必要。必要時に主治医に相談できる体制づくりの為、サービス担当者会議が必要。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		Web受講の機会を設けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		障害のない児童との関わりの機会がない。今後前向きに交流の場を設定していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	○		協議会への参加は行っていない。まずは協議会の取り組みについて知る必要がある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	○		必要に応じて助言等を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している。また、契約内容に変更があった場合は文章にて連絡している。	支援の内容や支援に対する様子を保護者と共有する機会を増やさなければならない。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に面談の機会を設ける他、適宜相談を受け付けている。	返答が遅くなることもある。保護者とのコミュニケーションを密に図り、保護者が相談しやすい関係性を構築していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会の開催は行えていない為、今後、夏季休業中実施できるよう前向きに検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○	法人で開催する八太郎山祭りへの参加を促すおたよりを児童、保護者に配布している。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	○	マニュアルの策定は行っており、避難訓練開催時はおたよりにし保護者に配布している。	各種マニュアルや取り組みについて知る機会をおたよりの他に設ける必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			